

研究課題名	前交通動脈瘤に対する半球間裂アプローチ時の嗅覚保護についての研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴
研究期間	倫理委員会承認後～2028年3月31日
対象者	2020年1月から2027年12月の間に広島大学病院脳神経外科及び県立広島病院脳神経外科・脳血管内治療科にて前交通動脈瘤に対して半球間裂アプローチにてクリッピング術を受けた患者さん。(くも膜下出血、再手術の患者さんは除く)
意義・目的	前交通動脈瘤に対する半球間裂アプローチの合併症の一つとして嗅覚障害があります。その予防として、嗅索を前頭葉から剥離することで嗅索が牽引されなくする方法が行われております。その嗅索への到達方法を工夫する(嗅索への到達の方向をこれまでと違う方向で行います)ことで、手術早期の段階で嗅索をしっかりと剥離でき、嗅覚障害発症のリスクを減少させることが可能であると考えています。この方法で嗅索保護を行った症例の術後嗅覚障害の有無やその程度を検討します。
方法	本研究は診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は、年齢、性別、動脈瘤のサイズ、手技の成否、嗅索損傷の有無、術後嗅覚障害の発生などです。 取得した情報は、各施設において氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに研究用の符号をつけ、どなたのものかわからないようにして研究に用います。 上述のように誰のものかわからないように加工された情報は、共同研究施設とパスワード付きのファイルにてメールおよびパスワード付きの電子媒体を用い直接共有し、両機関にて解析に用いられます。
研究の実施体制	研究代表機関・代表者 広島大学医系科学研究科脳神経外科 教授 堀江 信貴 研究機関の長 広島大学理事 田中純子 共同研究機関・責任者 県立広島病院 脳神経外科・脳血管内治療科 主任部長 富永 篤 研究機関の長 板本 敏行
試料・情報の管理責任者	広島大学医系科学研究科脳神経外科 教授 堀江 信貴
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定できる形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をおかけすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合にはお申し出ください。お申し出をいただいても不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報やそれに基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。

す。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257- 5227

広島大学病院脳神経外科 助教 近藤 浩